

令和2年度シラバス (家庭)

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	家庭 (家庭総合)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(必修)
使用教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)				
副教材等	生活学Navi (実教出版) ワーク「これであなたもひとり立ち」(金広委) 資料 Caution! ‘これからを生きる’ 応援ブック (県消費生活センター)				

1 学習目標

人の一生と家庭・家族、子どもや高齢者とのかわわりと福祉、消費生活、衣食住に関する知識と技術を総合的に習得させ、家族や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ・食生活の基礎基本を学び、実習をとおして様々な事象を科学的に理解させ、技術を身につけるようにする。
- ・自分を見つめ、周囲の人々と創造的な関係を結ぶ実践力を身につけるようにする。
- ・自立に向けたシミュレートすることにより、今後の経済面・生活面に現実感をもたせる。
- ・関連教材やワークシートによる家計管理や契約に関する実習を行い、消費者力の育成を図る。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	6章 食生活をつくる	教科書、資料集 調理実習 (計5回)	1. 食生活の課題について考える	25	授業(実習やグループワーク含む)の取組 定期テスト 提出物
5			2. 食事と栄養・食品		
6			3. 食生活の安全と衛生 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎		
7	5章 経済生活を営む	教科書、資料集 副教材使用	1. 職業生活を設計する 2. 計画的に使う 3. 国民経済・国際経済と、家庭の経済生活 4. 現代の消費社会 5. 消費者の権利と責任 6. これからの消費生活と環境	15	
8	ホームプロジェクト		・1日の食品摂取量や、カロリー計算をし、バランスのとれた食事を作ろう		
9	1章 自分らしい人生をつくる	教科書、資料集 プリント 公的文書参考 (婚姻届) (死亡届) (出生届)	1. 生涯発達の視点	20	
10			2. 青年期の課題		
11			3. 目標を持って生きる 4. 人生をつくる		
12			5. 家族・家庭を見つめる 6. これからの家庭生活と社会		
1	9章 生活を設計する		生涯を見通す	10	
2					
3					
	学校家庭クラブ	国民生活センターのHP	現在の消費者問題について調べる		

計 70 時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- ・各単元ごとに、グループ学習やレポートの課題の提出があります。
- ・調理実習後は毎回学習プリントの提出があります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現・技能		知識・理解
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
生活について関心を持ちその解決を目指して主体的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。	課題を見いだしその解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	生活の自立に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	家庭生活の意義や役割を理解し生活を充実向上するために必要な基本的な知識を身につけている。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取り組み（授業態度、グループ学習活動への参加状況、調理実習の取り組み）
 - ・提出物の期限厳守や内容
 - ・定期テスト
- などから総合的に評価します。